

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公開番号】特開2014-178239(P2014-178239A)

【公開日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-052

【出願番号】特願2013-52989(P2013-52989)

【国際特許分類】

G 01 N 30/20 (2006.01)

【F I】

G 01 N 30/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月2日(2015.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部空間を有するとともに流路配管を接続する接続ポートを外面に備え、前記接続ポートが流路を介して前記内部空間へ通じているハウジングと、

前記ハウジングの前記内部空間内に設けられ、前記内部空間の一壁面をなす平面を有し、その平面に前記接続ポートを前記内部空間へ通じさせる流路の端部である複数の接続穴が設けられているステータと、

前記内部空間内において前記接続穴が設けられている前記ステータの平面と液密を保つて接するように配置され、前記ステータと接する面上にいずれかの前記接続穴を選択的に接続する流路をなす溝が設けられているロータと、

前記ロータを保持するロータ保持部を先端に有し前記接続穴が設けられている前記ステータの平面に対して垂直に配置されたロータ駆動軸を備え、前記ロータ駆動軸を回転させることにより前記ロータを前記ステータと摺動させながら回転させるロータ駆動部と、

前記ハウジング内の前記ロータよりも下方の位置において液を受ける凹部と、

前記ハウジングに設けられ前記凹部で受けた液を前記ハウジングの外部へ導く開口部と、を備えた流路切換バルブ。

【請求項2】

前記ハウジングの内壁面から前記ロータ保持部に向かって突起して前記ロータ保持部の外周を囲う突起部を備え、該突起部の前記ステータ側の面に前記凹部が設けられている請求項1に記載の流路切換バルブ。

【請求項3】

前記突起部上に前記ロータ保持部の周面に密接して前記ロータ保持部と前記突起部との間の隙間を封止するリング状のシール部材が設けられ、

前記凹部は前記シール部材の外周に沿って設けられている請求項2に記載の流路切換バルブ。

【請求項4】

前記シール部材の前記ステータ側の面は液を前記凹部側へ導くように傾斜している請求項3に記載の流路切換バルブ。